

埼玉県・オハイオ州スカラシップ<語学・大学留学コース>

令和3年度派遣レポート9月

「学生としての生活」

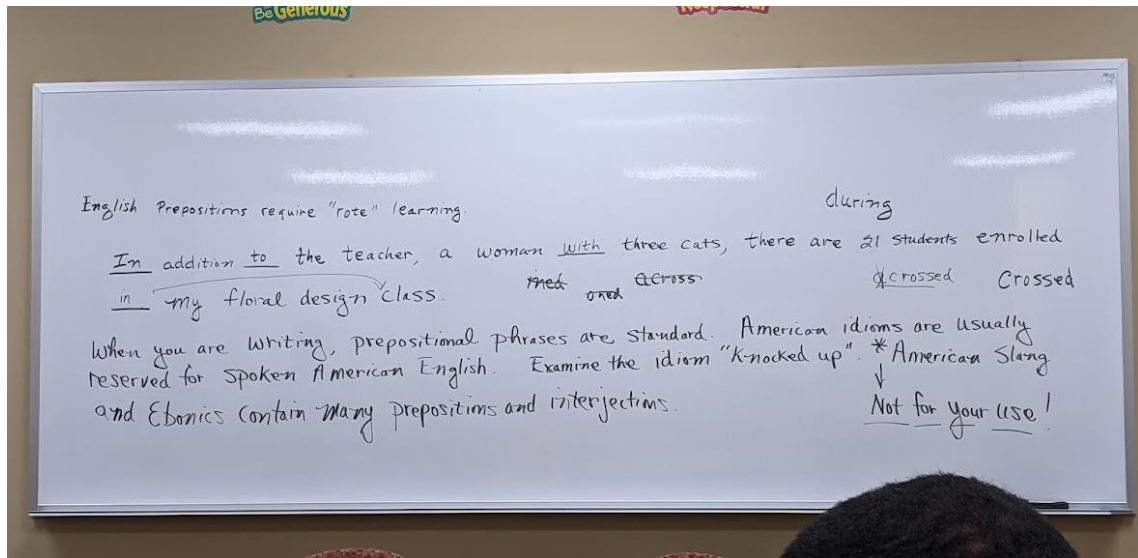
令和3年度奨学生 塚林光ジョナサン

フィンドレー大学における講義について

私は秋学期に聴講を含め8つの講義を受講しています。ライティング、アメリカ史、スペイン語、国際学、日本映画鑑賞、日本語教育、異文化交流です。

• ライティング

必修科目としてライティングの講義とそれを補助する講義の2つを受講しています。これらの講義は、留学生が対象で、文章構成や言葉遣いなどに注力し、学術的文章を英語で作成する能力の獲得を目的としています。補助の講義では、文法や語彙といった基礎的な英語能力を確認し、ライティングの講義で担当講師が問題と感じた範囲を再度確認します。履修している学生が全員留学生であるため、補助講義では、適切な文法と言葉遣いを重点的に学んでいます。



英文法における前置詞の解説

• アメリカ史

アメリカ史は南北戦争以前のインディアン文明から欧米列強による植民、アメリカ独立戦争といった内容を学習しています。後述するスペイン語の講義と違い、この講義は

教授が解説する内容を聞くことが中心となり、事前に教科書や指定された書類を読む必要があります。提出すべき課題はありませんが、数週間おきに学習した範囲のテストを行います。そのため、課題図書や教科書の熟読、ノート取りを行うことが必須となります。

- **スペイン語**

履修を希望するとプレースメントテスト（クラス分けテスト）があり、私は SPAN220（日本ではスペイン語中級に相当）を受講することになりました。講義では学生同士の会話を中心として、文法の学習や短編映画などを通してスペイン語のスキル向上を目指します。留意すべき点として、ラテンアメリカで学ぶスペイン語は日本で主に学習される欧州のスペイン語と差異があります。ラテンアメリカのスペイン語を学ぶ良い機会になります。

- **国際学**

この講義では、国際的な問題を扱いながら批判的思考力や相対的文化観を養います。例として、貧困やグローバル化による発展途上国での劣悪な労働体制、教育格差について学びます。講義は主に個人で視聴出来ないメディア（ドキュメンタリー等）を視聴して、意見交換や指定された範囲の理解度の確認を行います。また課題としてオンライン上で小テストを行います。更に教授の指定した活動などに参加することで追加の評価点を得ることもできます。

- **日本映画鑑賞（日本文化学習）**

この講義では、映画を通じた日本の文化や社会について学びます。講義中に映画を鑑賞し、事前に掲示された質問や映画全体について議論します。私は日本人としての経験談や知識をアメリカ人の学生と共有します。学期の最後にはグループによる発表が行われます。私のグループは『そして父になる』（2013）を教材として発表を行う予定です。

- **日本語教育（元気キッズ）**

この講義ではアメリカの児童に日本語や日本文化に触れるイベントを開催し、彼らが

日本について興味を持つことを目的とします。日本の遊びや紙芝居を準備し、児童に披露します。例えば、昨年度の受講者はコロナ禍によって紙芝居の録画を作成しました。



紙芝居練習の様子

- **異文化交流**

この講義では、様々な背景を持つ学生を集め、自文化のプレゼンテーションや遊びを紹介し相互理解を深めることを目的としています。サウジアラビア人やコンゴ人、中国人など様々な学生が参加しています。ハンコック郡内の小学校を訪れ、児童と交流する機会やハンコック郡リーダーシップ育成プログラムを通して高校生と交流します。私は日本や埼玉県、そして実家である北海道についてプレゼンテーションを行いました。

講義の準備や課題の負担について

私個人は17単位（8講義）を履修しています。負担は課題の有無や、事前準備の有無によって講義ごとに大きな差があります。例えば、ライティングの講義ではエッセイの大筋や下書き、文献を事前に提出必要があります。またスペイン語の講義では、課題の提出はもちろんのこと、スペイン語でのプレゼンテーションの準備が必要ですが、私が日本で勉強していた頃と比べても同程度です。フィンドレー大学の平均的な履修登録数は12単位から15単位なので、私が所属する獨協大学の履修登録数と比べると少ないです。

留学生として英語で学ぶという負担があることから、講義の難易度や形態に注意しながら選択をして、講義のレベルについていくのが難しい場合は無理せず途中で辞退してもよいと思います。不安や疑問点などがあれば、アドバイザーや担当講師と相談して調整することをおすすめします。

埼玉県・オハイオ州スカラシップ派遣プログラムにご興味のある方や、フィンドレー大学について詳しく知りたい方は tsukabayashih@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。留学や現地の生活についての悩みや不安を解消できればと思います。